

■計画策定までの流れ

地域の強み

- 地域の強みを出し合いました。
- ・石井地区は、東部に鬼怒川や田園地帯、西部に住宅地が広がる、自然と住環境が調和した地域である。
 - ・鬼怒川河川敷に、野球場、サッカー場、ペタンク場があり、土手には桜堤がある。
 - ・定時型とデマンド型の地域内交通がある。
 - ・比較的近くにショッピングセンターがある。
 - ・夏祭りや山車等があり伝統行事が守られている。
 - ・ライトラインが近くを走る。
 - ・ペタンクのまち石井。

課題等の抽出

- 地域で気になること（課題）について話し合いました。
- ・高齢化が進み、ひとり暮らし高齢者、高齢者のみの世帯（日中を含む。）が増えている。救急車の利用も多い。
 - ・福祉の担い手（福祉協力員等）は一定数いるが高齢化している。
 - ・空き家が増えている。
 - ・マンションやアパート住人は自治会未加入者が多い。
 - ・自治会館のない自治会がある。

目指す地域の姿

- 目指したい地域の姿の意見を出し合った中から、計画のタイトルを決めました。
- ・高齢者等を地域で支援する活動の充実を目指します。
 - ・地域住民の健康長寿を目指します。
 - ・誰もが安心して暮らせる地域を目指します。
 - ・みんなが顔見知りになれる地域を目指します。

地域が連携協力して支えあい、安心して暮らせる石井地区にしよう！

実現のために取り組むこと

- 課題を4つの基本目標のカテゴリーに分類し、その解決と、目指す地域の姿を実現するために、地域で取り組む具体的な内容を導き出しました。また、地域の誰が中心に、いつまでに取り組んでいくかも決めました。

計画の完成

■石井地区福祉のまちづくり計画策定委員(石井地区向こう三軒両隣り協議会)

役 職 氏 名	関係団体名	役 職 氏 名	関係団体名
1 会 長 菊池 芳夫	石井地区社会福祉協議会	13 理 事 野澤 幸夫	サックススポーツクラブ
2 副 会 長 伊原 成美	石井地区自治会連合会	14 理 事 関本 信子	石井地区健康づくり推進協議会
3 副 会 長 久保 徹	石井地区民生委員児童委員協議会	15 理 事 小川 淳一	石井地区社会福祉協議会
4 事務局長 兼会計 久保 典子	石井地区社会福祉協議会	16 理 事 井澤 宏元	石井地区社会福祉協議会
5 会 計 小川 裕美	石井地区福祉協力員連絡会	17 理 事 野澤 一郎	石井地区社会福祉協議会
6 会 計 辻 律子	石井地区福祉協力員連絡会	18 理 事 菊地 文雄	石井地区社会福祉協議会
7 理 事 伊藤 進	石井地区自治会連合会	19 理 事 大橋 章人	石井地区福祉協力員連絡会
8 理 事 深谷 正範	石井地区民生委員児童委員協議会	20 理 事 小野 みね子	石井地区福祉協力員連絡会
9 理 事 庭野 洋子	石井地区民生委員児童委員協議会	21 理 事 横山 太郎	東警察署平松・石井ブロック
10 理 事 伊藤 元幸	東峰南自治会サロン・食事会担当	22 理 事 安納 真樹	東消防署平石分署
11 理 事 景山 真由美	地域包括支援センター石井・陽東	23 監 事 加藤 久雄	石井地区社会福祉協議会
12 理 事 山崎 雅史	石井地区体育協会	24 監 事 増淵 伸	石井地区社会福祉協議会

発行年月日:令和8年8月

編集：石井地区社会福祉協議会

連絡先: 宇都宮市社会福祉協議会 (☎028-636-1215)

石井地区 福祉のまちづくり計画

＜＜令和8年度～令和10年度(3年間)＞＞

福祉のまちづくり計画って？

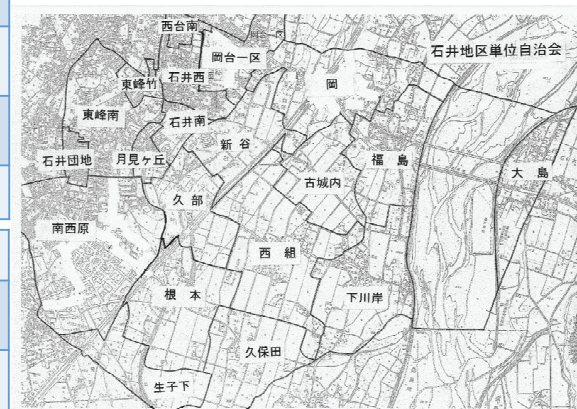
宇都宮市社会福祉協議会の地域福祉活動計画を踏まえて、各地区の福祉課題を把握し、その解決のために今後どのような活動に取り組んでいくのか、また、将来の姿を見据えて「福祉のまちづくり」をどのようにすれば実現できるのかを、地区のみなさんと話し合い、中期的(3～5年程度)にまとめた計画です。

■石井地区の現状（令和8年3月末小学校学区データより）

人口		石井地区	宇都宮市
	年少人口	1,702人 (12.1%)	58,951人 (11.5%)
	生産年齢人口	8,976人 (63.9%)	317,802人 (61.8%)
	高齢者人口 (高齢化率)	3,372人 (24.0%)	136,686人 (26.7%)
	合計	14,050人	512,019人

自治会数	20	786
自治会 加入世帯数	3,065	143,732
全世帯数	6,531	240,310

单位自治会区域图



■石井地区の歴史と地勢

石井の地は、鎌倉時代から西組堀之内にあった石井城を中心としてまとめ、敵が攻めてきた時は一族郎党、そしてすべての民が城内に入り戦ったといわれている。

江戸時代は、東部を流れる鬼怒川の舟運が盛んで、下川岸には宇都宮城外港河岸石井河岸があつた。たくさんの荷物と人々が行きかい、宇都宮への玄関口ともなっていた。明治初頭には、大島にイタリヤ式近代器械製糸所大島商舎が設立された。群馬県富岡製糸工場の出来る1年前、明治4年のことである。アメリカ第18代大統領グラントが訪れている。

明治10年、石井村に石井小学校が設立された。その後町村合併があり、平石南小学校と名が変えられたが、昭和45年石井小学校としてよみがえった。

現在、石井の東部は、新潟県魚沼に負けない美味しい米が出来る穀倉地帯となっている。西部には、住宅が立ち並び、便利なショッピングセンターもある。

道路は、東西に石井街道、久部街道、南北に新4号国道が走っている。

国道123号鬼怒橋(旧道)



地域が連携協力して支えあい、安心して暮らせる石井地区にしよう！

地区の皆さんから出された地区の課題を整理して、目指す地区の姿を考え、それを実現するために必要な取り組みと、地区の強みを生かした、具体的な実行計画を立てました。

基本目標	抽出された課題等	取組	具体的な取組(内容)	活動主体	2026	2027	2028
1. 福祉のこころをはぐくむ人づくり	・福祉を支える人づくり ・福祉を支える人たちの高齢化への対応 ・福祉協力員等の新規加入の促進 ・福祉協力員、あったかサポーター等への支援の充実	・福祉協力員・あったかサポーターの研修を充実させます。 ・福祉協力員・あったかサポーターの新規募集と支援の強化を図ります。	①福祉協力員・あったかサポーター研修会の実施 ②広報誌「清流」や自治会回覧等による、福祉協力員・あったかサポーターの役割や活動内容の紹介 ③自治会回覧、広報誌「清流」、各種会議等による、福祉協力員等の募集案内	①地区社協・福祉協力員連絡会・第2層協議体 ②③自治会・地区社協・福祉協力員連絡会・第2層協議体・広報誌「清流」	実施		
2. 共に支え合う地域づくり	・地域住民の交流の機会の充実 ・高齢化に伴う支援の充実 ・地域福祉活動と自治会活動の連携強化	・四者会議を推進します。 ・地域共生事業の実施を検討します。 ・地域が連携協力して高齢者等を支援します。	①四者会議の開催、福祉協力員・自治会・民生委員・地域包括支援センター四者の連携協力とひとり暮らし高齢者等の見守り活動の実践 ②年末年始あったかプレゼント事業の充実 ③自治会連合会主導の秋祭りへの社協等福祉団体、障がい者施設の共同参加と共生事業の実施	①自治会・民生委員・福祉協力員・包括・地区社協・第2層協議体 ②地区社協・福祉協力員・民生委員・自治会 ③自治会連合会・地区社協・福祉関係団体等・障がい者施設	実施		
3. 安心して暮らせる福祉の基盤づくり	・高齢者・子ども・障がい者等が安心して参加できる場や事業の充実 ・高齢者・子ども、障がい者・地域住民の交流機会の充実	・地域が連携協力し、高齢者・子ども・障がい者事業の充実を図ります。 ・地区事業等を通して、高齢者・子ども・障がい者・地区住民の交流機会を増やします。	①ふれあい・いきいきサロン事業の充実拡大（11自治会で実施） ②ふれあい会食会の実施（2か所で実施） ③あったか健康マージャン事業の充実 ④老人クラブ日帰り旅行の実施 ⑤子どもの居場所・こども食堂の実施	①②③福祉協力員・民生委員・自治会・地区社協・健康づくり推進員 ④地区社協・自治会・老人会 ⑤子ども居場所運営委員会・民児協・地区社協	実施		
4. 安全で活気ある地域づくり（地区独自目標）	・自治会活動・地域福祉活動の連携強化 ・地域内交通の充実強化 ・高齢者等の交通安全対策 ・高齢者等の緊急時の対応 ・見守り活動と防犯対策の連携強化	・住民が安心して外出できるまちを目指します。 ・救急時の安全を支援します。	①地域内交通の充実、小学校児童の利用促進 ②交通安全運動への参加促進 ③安心・安全情報キットの普及促進 ④石井地区秋祭りの開催と参加促進 ⑤ペタンクによる地域づくりの支援 ⑥消防・警察との連携強化	①地域内交通運営委員会・自治会・石井小 ②交通安全協会石井支部、自治会等 ③④⑤自治会連合会・地区社協・民児協・ペタンク協会 ⑥第2層協議体・消防・警察	実施		

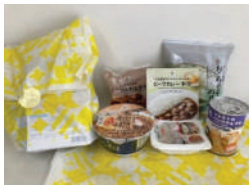
第6次宇都宮市地域福祉活動計画と併せてリニューアル

策定・推進

四者会議



あったかプレゼント



2

ふれあい・いきいきサロン



ふれあい会食会



あったか健康マージャン



安心・安全情報キット



3

老人クラブ日帰り旅行

